

<プロジェクト概要>

肥育豚において、方法論L001の利用による低タンパク配合飼料を、従来の飼料代替することにより粗タンパク質(CP値)を軽減することで、ふん尿処理からのN₂O排出を抑制させ二酸化炭素の排出削減を図る

プロジェクトの実施場所	埼玉県熊谷市大字下川上425-6
削減量(予測)	年間 277 t-CO ₂
在庫量	未取得(2012年7月時点)
クレジットの次回発行予定	2013年
1t-CO ₂ あたりの希望単価	—

低タンパク配合飼料の給餌により、飼料代を抑えることができより経営的な負担が軽くなる。
 創出されたクレジットを販売することで、新たなる温暖化対策事業に充てるほか、「オフセット豚」としての養豚事業者への活性化の事業を検討する。
 今回のプロジェクトで肥育される豚を「オフセット豚」として日本産の豚の普及として品質の高い肉豚の提供が可能となり、排泄物は堆積発酵し堆肥として供給している。堆肥は、埼玉県たい肥共進会より最優秀賞・埼玉県知事賞・埼玉県畜産会会長賞を受賞しました。



肥育農場(左上)と
 低タンパク飼料による養豚(右上)
 低タンパク飼料(左)



スタッフ と 受賞した堆肥の「オーガニックパワー」

■担当者連絡先: 一般社団法人 地球環境技術協会
 担当 山下 TEL03-5298-6675 yamashita@geta.or.jp